海外事情研究会 OB 会活動報告

――――――――日本学生海外移住連盟（学移連）OB 会発足大会に参加して――――――――

昭和 30 年～50 年代、海外移住・中南米研究・海外雄飛を夢見た全国の 60 大学のクラブ（サークル）が加盟していた日本学生海外移住連盟（学移連）の「学移連 OB 会発足大会」が去る 5 月 22 日（日）横浜市の JICA 横浜国際センターで開催されました。

京都外大海外事情研究会（海研）は、昭和 36 年に学移連に加盟して活発な活動を続け、幾多の優秀な人材を学移連に送り出し、京都外大の存在価値を高めると共に学移連活動に貢献してきました。

時代の変化とともに、学移連そのものは、約 15 年前に発展的解散をしてしまいました。しかし、若き日の学生時代当時海外雄飛を夢見た学生達は、年代が過ぎようとも視野を広く世界に向けて現在も社会の第一線のいろいろな分野で活躍しております。そうした中、拓殖大・日大・慶応大・早大等の卒業生有志が中心となり、「学移連 OB 会発足大会」開催の準備を進めて来ました。当日は、全国から 24 大学、98 名の学移連 OB（同伴者 10 名）及び幹事校として日大・東京農大の学生 23 名がボランティアとして参加しました。又、北九州大学は、OB と共にラテンアメリカ研究会の現役学生数名が参加していました。

我が京都外大海研 OB 会からは、引地正之（昭 41 年度英米卒)、中鉢泰平（昭 41 年度スペイン語卒)、沢田勝義（昭 46 年度ブラ・ポル語卒)、桂良太郎（昭 48 年度英米卒）の 4 名が参加しました。引地、沢田氏、桂氏の 3 名は学移連派遣団員としてそれぞれブラジル、カナダ国での実習調査活動を行い、中鉢氏は学移連本部事業部長として活躍していました。

OB 会発足大会総会では、大会委員長の伊波洋之助氏（拓大卒、元横浜市議会議長）の開会の辞の後、議長団選出・役員選出・承認等上程された議案を粛々と審議して満場一致で採択した後、学移連 OB による次のような社会貢献活動が紹介され、出席した学移連 OB は熱心に聞き入っていました。

1.桐井公仁氏（拓大卒）エクアドル児童食糧援助活動

2.佐藤卓司氏（東京農大卒）アマゾン植林活動

3.宮崎林司氏（三重大卒）アジア自然環境保護活動

4. 加藤仁紀氏（早稲田大卒）ブラジル労働者支援。

最後に今年亡くなられた四方（福永）都氏（大阪府大卒、第 4 次南米学生実習調査団、パラグアイ在住）のを忍び全員で黙とうを捧げ、懇親会に移りました。

懇親会では、学生時代共に行動した仲間達と久しぶりに会い、又初めて会った学移連 OB 達と大学の垣根を越え、時代の流れを超えて学生時代の南米派遣の思い出、学移連での活動や合宿の思い出等を語り合い、又近況を報告し合ったりして参加者全員が 20 代の学生時代にタイムスリップしたような気分を味わいながら時間の経過を忘れて語り合い、旧交を深め合いました。懇親会が盛り上がったところで、拓殖大桂会のカチマス踊り・東京農大

移住研究会のダイコン踊りが披露されて満場の喝さいを浴びました。又、出席した大学別の大学紹介・クラブ・OB 会の報告では、京都外大のクラブが存続していること、海研 OB 会が活動していることを報告して、クラブが存続していない大学からは称賛の声を浴びました。

学移連 OB 会が発足したのを機会に、関西以西の大学による学移連 OB 会西日本支部を設立しようとの機運が高まり、出席した京都外大の他に関西大、関西学院大、大阪府立大、京大、甲南大、広島農短大、北九州大、鹿児島大の OB が集まり、学移連 OB 会西日本支部設立に向けて、当日欠席した神戸外大、奈良女子大等の学移連加盟校にも呼び掛けて行動することになり、とりまとめ役として京都外大卒引地正之が選出されました。

昭和 30 年代後半 40 年代に卒業した海研 OB 達は、学生時代学移連の活動に様々な形で参加した良き思い出があり、今般学移連 OB 会が発足したのを機に海研 OB 会として関西以西の学移連加盟大学卒業生有志と連絡を取りながら学移連 OB 会西日本支部設立に向けて行動すると共に、大学の垣根を越えて人生の若き日の一時期共通の目的意識を持った活躍した我々の行動や理念をどのようにして次世代に引き継いで行くかを共に検討して行きたいと思っております。

完

引地正之（昭 41 年度英米語学科卒）
海外事情研究会